

ゴルフについて

國分 康徳

ぼくは、二年生の時にゴルフを始めました。ゴルフを始めたとき、かけは、お父さんがやっていた。よくテレビでプロのプレイを一緒に見ていたからです。それから少しづつ興味を持ち、時々練習場へ連れて行ってもらいました。でも、ぜんぜん当たらなくて、どうしたら当たるのかお父さんから教えてもらいました。すると、何回かいい当たりが出てうれしかったです。そして、だんだんスイングもできてきて、いっぱい当たるようになりました。この頃は、お父さんも右打ち、ぼくも一緒に右打ちでがんばっていました。一度、ある練習場のコンペがあり、父と一緒に参加をして、五位に入賞したこともありました。とてもうれしかったです。練習も、一段と一生けんめいがんばりました。

ところが、お父さんが去年の十二月に左打

ちに変えて、ゴルフをすることに作り直した。
今年の一月にお父さんと練習場に行つた時
のことです。
「左で打つてみる。」
と言われ打つてみたらいい当たりがしました。
お父さんの言葉をきかずに「とずつ左
打ちで打っている」と、スイングがきれいでス
ムーズで、最終的には自分で左打ちに変え
ると決意してがんばつてみることにしました。
早速ほくの誕生日に左打ちのゴルフクラブ
をお父さんから買ってもらいました。そして
練習場で新しいゴルフクラブで打つてみると、
アイアンはしんにあたっているショットがで
たけれど、ドライバーはしんにあたらなくて
飛距離が出なくて不安でした。そして、お父
さんから「フラットにして打つてみる。」
と、言われフラットにして打つてみたらしん
に当たって、飛距離が出てうれしかったで
す。

これから、たくさん練習をして、
プロを目指してがんばりたいと思います。